



平成29年度 地域発 元気づくり支援金【南信州地域(1次分)】 58事業が内定しました

「地域発元気づくり支援金交付要綱」に基づき、南信州地域選定委員会による審査を経て、下記のとおり1次分を内定しました。

1 事業区分別の選定状況

事業区分		選 定 状 況	
		件数	支援額(千円)
1	地域協働の推進	4	3,161
2	保健、医療、福祉の充実	1	1,041
3	教育、文化の振興	15	22,930
4	安全・安心な地域づくり	4	4,641
5	環境保全・景観形成	6	7,454
6	産業振興、雇用拡大 (小計)	20	33,499
(1)	特色ある観光地づくり	10	11,813
(2)	農業の振興と農山村づくり	5	9,760
(3)	森林づくりと林業の振興	1	681
(4)	商業の振興	2	6,115
(5)	その他	2	5,130
7	市町村合併に伴う地域の連携の推進に関する事業	0	0
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	8	12,010
合 計		58	84,736

【再掲】県全域又は地域ごとに重点的に推進するテーマに関する事業分

重点テーマ区分		件数	支援額(千円)
県	しあわせ×2(buy)信州運動の推進(地消地産)	1	681
県	人生二毛作社会の推進	0	0
県	信州ACEプロジェクトの推進	1	1,041
地域	広域観光の推進	6	6,748
地域	地域の特色ある産業の振興	6	15,264
地域	移住・定住、若者向けUターン就職の促進	6	9,070
地域	伝統芸能の継承	6	11,918
地域	安全・安心な暮らしの確保	3	2,150
地域	地域交通の確保・充実	2	3,041
合 計		31	49,913

2 申請者区分別の選定状況

申請者区分	件数	支援額(千円)
市町村	21	27,373
広域連合等	3	5,745
公共的団体(地域づくり団体・NPO等)	34	51,618
合 計	58	84,736

【参考】

- 当地域の要望状況:63団体から、81件 1億5,311万8千円の要望がありました。
- 選定結果を踏まえ、該当団体に対し、事業ごとの採否を付した書面により通知するとともに、選定した事業については、より効果的に実施していただけるよう適切な助言をしてまいります。
- 南信州地域配分額 1億1,160万に対し、1次採択額は8,473万6千円で、2,686万4千円の残額が生じたため、2次募集を実施します。詳細は別途お知らせします。



長野県PRキャラクター「アルクマ」
(信州DCバージョン) ©長野県アルクマ



世界級リゾートへ、
ようこそ。山の信州

信州デスティネーションキャンペーン
2017.7.1 - 9.30

しあわせ信州創造プラン(長野県総合5か年計画)推進

南信州地域振興局企画振興課

課長: 矢澤 圭 課長補佐: 飯田 史晴

担当: 村松 弘崇、東城 景子

電話: 0265-53-0401

FAX: 0265-53-0404

E-mail minamichi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

平成29年度 地域発 元気づくり支援金 【南信州地域（1次分）】 選定事業一覧表

(平成29年4月27日現在)

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
1	地域協働の推進	ソフト・ハード	地域学生主体の文科系活動発信事業	GARDEN4S(飯田市)	短大生、高校生、中学生等を巻き込んだ文化フェスティバルを開催し、多くの若者に地域活動に参加してもらうとともに、若者と商店街の活性化と文化発展を図る。 ①ポスター、のぼり旗、スタッフTシャツ等 ②発電機	949	686	686	
2	地域協働の推進	ソフト	千代地区の「地域力」を高める地域活性化事業	千代地区まちづくり委員会(飯田市)	原稿執筆や座談会等を通じて、千代地区の歩みを残すための記念誌を制作し、地域づくりについて考える機会とするとともに、地域の未来を担う子ども達の郷土愛を育む学習教材として活用する。 ①印刷製本費(800部)	1,234	925	925	
3	地域協働の推進	ソフト・ハード	羽場地区地域協働活性化事業	羽場まちづくり委員会(飯田市)	地域ボランティアによる介護予防教室や高齢者による子ども学級などの地域活動、交流活動を充実・発展させるため、専門講師による効果を高めるとともに、高齢者や子ども達が参加しやすいよう活動環境等を整備する。 ①講師謝金 ②エアコン設置	1,995	1,000	1,000	
4	地域協働の推進	ハード	地域高校と連携する町民バスラッピング事業	阿南町	高校生がデザインしたラッピングバスを運行するとともに、住民に愛称募集を行うことで、町民バスを身近に感じてもらう利用促進に繋げる。 ②バスラッピング(1台)	734	550	550	地域交通
5	保健、医療、福祉の充実	ソフト・ハード	ふっとふっとオリジナル体操制作及びPR事業	阿南町	高齢者の参加者が中心となってきた「ふっとふっと事業」の再構築を図り、幼児から高齢者までの全住民に足からの健康づくりを推進する。 ①CD・DVD制作費 ②マスコットキャラクター着ぐるみ制作費	1,406	1,041	1,041	ACE
6	教育、文化の振興	ソフト	宇宙留学サマーキャンプ2017	飯田市	宇宙をテーマとした合宿学習を開催し、グローバル人材の育成や将来の当地域の航空宇宙産業の担い手となるきっかけ作りとするとともに、都市圏の児童との交流により、中山間地域におけるまちづくりの機運を高める。 ①講師謝金、旅費、施設使用料等	1,237	603	603	
7	教育、文化の振興	ソフト	自然資源を使って、生きがいの中に伝統文化を継承する	一般財団法人飯田市南信濃振興公社(飯田市)	2年間で指導者(地元のシニア世代)の養成と体験者の受入を行い、誘客に努めてきた。平成29年度は活動の継続基盤を確立するため、体験民泊の受入を進めるとともに、和田小学校との連携により、遠山郷の藤織り文化を子ども達に伝えていく。 ①講師謝金、資料印刷費、会場借上費等	914	731	685	
8	教育、文化の振興	ソフト	エコール・ディエイエ2017	一般社団法人レキップ飯田(飯田市)	飯田市において、外国語で日本の文化を学べる環境をつくるため、市民主導によるフランス人大学生を集めたサマースクールを開講し、市民の国際交流に対する意識を喚起する。 ①通訳謝金、広告宣伝費、会場使用料、バス借上料等	8,039	3,014	2,825	
9	教育、文化の振興	ソフト	民俗芸能の後継者確保を目的とした広報誌の発行事業	伊那谷民俗芸能団体連絡協議会(飯田市)	当地域の宝である民俗芸能は継承の危機にあり、各芸能の取組を調査し、広報誌として広くPRするとともに、学習会の資料とすることで、後継者や支援者の確保を図る。 ①印刷製本費(45,000部、南信州地域住民)	972	777	777	伝統芸能
10	教育、文化の振興	ソフト	遠山の霜月祭・次世代へ継承する「音」の保存事業	遠山郷観光協会(飯田市)	祭の担い手不足により、相互に助け合いながら祭りを継承する取組が始まっているが、神社による微妙に異なる節・拍子に従来の形で継承できるようCD化する。併せて、来場者の利便性向上のため、看板等を設置する。 ①録音・編集、のぼり旗、案内看板	1,697	1,357	1,357	伝統芸能
11	教育、文化の振興	ソフト	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会(飯田市)	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会(飯田市)	「清内路村の手作り煙火」をはじめとする南信州圏域を中心とした煙火文化を記録し、意見交換等の学習会を開催することで、民俗文化の保存伝承を図る。 ①調査謝金、旅費、映像制作費等	3,632	2,631	2,631	伝統芸能
12	教育、文化の振興	ソフト	南信州お仕事キッズタウン事業	南信州青少年育成プロジェクト(飯田市)	子ども達を対象とした「南信州お仕事キッズタウン」を通じ、この地域の仕事を体験し、知ってもらうとともに、大人たちと触れ合うことで、この地域に居続けたいと思うきっかけとする。 ①会場借上費、資料作成費、広告費等	1,327	827	827	

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
13	教育、文化の振興	ソフト	「時の駅」発“ふるさと高森再発見の旅”	高森町	大河ドラマ「おんな城主直虎」により町や資料館「時の駅」への来訪者が増加しているため、再び訪れたい資料館作りに取り組む。併せて、地元の歴史に目を向けてもらう機会として、講演会・学習会を行う。 ①講師謝金、ポスター・チラシ、文化財マップ等	3,813	2,805	1,887	
14	教育、文化の振興	ソフト	激動の牛牧昭和史(冊子の作成・発行と体験教室の開催)	牛牧史学会(高森町)	現在の生活環境の礎となっている「激動の昭和」を後世に伝え、継承させるため、「激動の牛牧昭和史」を発行するとともに、昭和時代の体験教室等を開催する。 ①冊子発行(400部、区民配布)	969	727	727	
15	教育、文化の振興	ソフト	阿智村認定地域資源普及事業	阿智村	住民が主体的に価値を見出し次世代に継承したい地域資源を村が認定する「認定地域資源制度」を設けた。引き続き、新しい地域資源の掘り起こしや、イベントでの活用を図る。 ①講師謝金、パンフレット、講座開催経費等	1,639	1,229	1,229	
16	教育、文化の振興	ハード	囲い櫓修繕を通じた下清内路花火の伝統継承プログラム	下清内路区会(阿智村)	下清内路の地域のつながりに欠かせない花火を引き続き維持するため、囲い櫓を修繕するとともに、修繕の際に伝統技術と伝統芸能の継承を目指す学習会を実施する。 ②囲い櫓修繕	2,041	1,530	1,530	伝統芸能
17	教育、文化の振興	ソフト	根羽村文化財継承保存事業	根羽村	人口減少・高齢化が進む中、文化財の知識の継承が課題となっており、月瀬の大杉や信玄塚などの文化財等の解説を映像として記録し、小学校の特別授業等で活用する。 ①映像制作	2,044	1,533	1,533	
18	教育、文化の振興	ソフト・ハード	下條歌舞伎一步前へ！プロジェクト パート2	下條歌舞伎保存会(下條村)	平成28年度に引き続き、一般参加者を含めたプロの指導を受けることにより伝統芸能の継承を推進する。また、人形芝居と地歌舞伎の合同公演により後継者の確保を図る。 ①講師謝金、出演料等 ②三味線(2本)	1,746	1,376	1,376	伝統芸能
19	教育、文化の振興	ソフト	若者の力で祭りを盛り上げよう！「たかぎふるさと祭り30周年記念イベント」	たかぎふるさと祭り実行委員会(喬木村)	「たかぎふるさとまつり」において、高校生が大人たちと一緒にお祭りを作り上げる機会(プロジェクションマッピング)を提供することで、喬木村で育つ若者のふるさとへの意識醸成を図る。 ①機材レンタル、講師派遣、会場使用料、ポスター印刷費等	928	742	696	
20	教育、文化の振興	ソフト・ハード	重文指定記念・大鹿歌舞伎体感伝承活用事業	大鹿歌舞伎保存会(大鹿村)	地芝居では全国で初めて重要無形民俗文化財に指定された「大鹿歌舞伎」を、保存伝承し、その魅力をPRするため、ワークショップや講演会等を開催する。 ①公演開催経費、講師謝金、クリアファイル等 ②歌舞伎衣装、三味線	6,248	4,247	4,247	伝統芸能
21	安全・安心な地域づくり	ソフト	災害に向けての実践力をつけ+ネットワークも作ろう！！初級編	NPO法人 飯田ボランティア協会(飯田市)	平成28年度に引き続き、伊那谷の特性や、災害弱者支援について学習するとともに、市民のネットワークを築くことで、地域防災力の向上を図る。 ①講師謝金、広告費、地形図等	451	360	360	安全安心
22	安全・安心な地域づくり	ソフト	下條村災害時住民支えあい体制構築事業	下條村	これまで、防災・減災意識の向上を図ってきたが、平成29年度は世帯台帳等を整備し、防災訓練や地区別講習会を実施し、台帳を元に助け合いの地域を築く。 ①研修会謝金・委託料	974	779	779	安全安心
23	安全・安心な地域づくり	ソフト・ハード	薪さえあれば憂いなし！防災＆木の村「売木村」推進プロジェクト	売木村	防災マップの作成を契機に防災に対する意識が高まりつつあることから、災害時に活用する薪ストーブを導入するとともに、炊き出し訓練や教育現場での木育、防災訓練等に活用し、災害時に備える。 ①薪スタンド ②薪ストーブ(3台)	1,343	1,011	1,011	安全安心
24	安全・安心な地域づくり	ソフト	住民と考える地域交通利用促進事業	大鹿村	既存の公共交通を住民がもっと利用できるように、住民ニーズを把握するとともに、ワークショップを開催し、利用促進を図る。 ①現状調査、委員謝金、郵送料等	3,114	2,491	2,491	地域交通
25	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	城山公園整備事業	飯田商工会議所山本支部(飯田市)	これまで城山公園の整備を進め、観光客や小学校の遠足の場として利用が増える中、引き続き地域住民で保全活動を行うとともに、駐車場や休憩室の整備を行う。 ①燃料代 ②休憩室改築、看板設置	4,841	3,230	3,230	

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
26	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	未来へつなぐ風越山麓わくわくプロジェクト	丸山まちづくり委員会(飯田市)	子ども達を巻き込みながら、地域住民自らが育苗管理や山林整備、植樹祭等を実施することで、郷土愛の醸成や新たな地域資源の発掘による地域活性化を図る。 ①講師謝金、苗木、パンフレット等 ②看板	761	562	562	
27	環境保全、景観形成	ハード	片桐松川左岸及びむらやま公園周辺が桜で潤い実践事業	むらやま公園八重桜の会(松川町)	片桐松川左岸のむらやま公園に地域住民が協力して桜並木を育成し、環境保全を推進することで、新たな景勝地として地域の活性化を図る。 ②整備費用、苗木等	1,706	1,137	1,137	
28	環境保全、景観形成	ハード	地域に学び、地域とふれあう『天白峡ほたる』再生事業	山吹天伯峡ほたる管理委員会(高森町)	小学生と協働でほたるの飼育を行っているが、エサとなるカワニナが繁殖できるよう、専用水路を新設し、生息環境整備を行う。 ②水路整備	767	511	511	
29	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	史跡、民話、里山環境整備と交流事業	NPO法人祭り街道の里ドリーム新野(阿南町)	史跡や大銀杏にまつわる民話を案内できるように石碑を立てるとともに、冊子やチラシと併せて子ども達や町外からの来訪者への説明に活用する。 ①小冊子、チラシ ②石碑設置(2箇所)	1,372	922	922	
30	環境保全、景観形成	ソフト・ハード	矢作川流域による環境整備事業	根羽村	矢作川下流域として交流のある愛知県安城市の中学生と一緒に遊歩道整備を実施し、森林整備作業を通じて体験学習を行うとともに、地元間伐材の利用促進に繋げる。 ①中学生指導料 ②遊歩道修繕	1,598	1,092	1,092	
31	特色ある観光地づくり	ソフト	「福(かぐらふぐ)呼ぶ」商品開発と体験事業	一般財団法人飯田市南信濃振興公社(飯田市)	道の駅遠山郷の日帰り温泉が塩の湯であることから、温泉水を活用したとらふぐの養殖に取り組んでいる。このとらふぐを活用した新たな体験事業として、とらふぐのストラップ作りをメニュー化するため、地元の指導者を養成する。 ①講師謝金、器具材料費、広告宣伝費	2,142	1,606	1,606	
32	特色ある観光地づくり	ソフト	南信州観光情報発信事業	南信州観光連携プロジェクト会議(飯田市)	信州DCを南信州への観光誘客の好機として、観光事業者等と連携して当地域のタイアップ記事を掲載することで、「南信州」の存在感を大きくし、全国的な知名度アップ、着地型観光の推進及び誘客促進を図る。 ①タイアップ記事制作	1,685	1,347	1,347	広域観光
33	特色ある観光地づくり	ソフト	中央アルプス(木曾山脈)縦走企画、烏帽子岳～越百山登山道整備	松川町	住民有志により、新たなルート開拓のための組織を立ち上げ、登山口へのトイレ設置、登山道整備を行い、多くの登山者に松川町に来てもらえるようにする。 ①刈払機、チェーンソー	4,990	3,766	395	広域観光
34	特色ある観光地づくり	ソフト	直虎ゆかりの地発・再び訪れたくなるDC推進事業	高森町	高森町は2017年大河ドラマ「女城主・直虎」の主人公・直虎の許嫁・井伊直親が匿われたドラマゆかりの地であり、信州DCの一環として、観光振興(誘客・おもてなし)に取り組む。 ①リーフレット、ガイド研修用バス代、広告費、仮設トイレ等	2,740	2,192	2,192	広域観光
35	特色ある観光地づくり	ソフト	道路観光資源化事業	阿南町	新たな観光資源の発掘が課題となる中、阿南町及び泰阜村の協働事業として、「橋カード」を作成し、交流人口の増加を図る。 ①橋カード(12種、5,000枚)、ポスター、パンフレット等	1,021	816	816	広域観光
36	特色ある観光地づくり	ソフト・ハード	都市と田舎をつなぐ！企業連携心のデトックス事業	売木村	都会の企業に勤める若者を村に招聘し、村を拠点に空き家改修を通じて売木村の地域おこしに協力してもらう事業を展開し、企業連携の拡大により、移住者の確保へ繋げる。 ①講師謝金、参加者送迎、農機具等レンタル費 ②空き家改修	1,489	1,156	1,156	移住定住
37	特色ある観光地づくり	ソフト	若者の、若者による、若者と地域の為の『I♡豊丘(あいらぶとよおか)』推進事業	豊丘村若者交流実行委員会(豊丘村)	若者ボランティアによる各種イベント(灯籠まつり、イルミネーション、フォトコンテスト)を実施することで、若者が地域で活躍できる場を創出し、郷土愛の醸成を図る。 ①イベント用消耗品、広告費、出演料等	1,401	1,050	1,050	
38	特色ある観光地づくり	ソフト	原田芳雄プロジェクト2017	原田芳雄プロジェクト実行委員会(大鹿村)	平成28年度に実施した「原田芳雄プロジェクト」が文化的な恒例のイベントとするために、映画鑑賞や音楽イベントに加え、歌舞伎ワークショップやチケットクーポンによる地元消費喚起の取組等を行う。 ①映画上映費、出演者謝金、ポスター、チラシ等	2,554	1,253	1,253	

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分
							うち 支援金 要望額		
39	特色ある観光地づくり	ソフト	南信州版DC推進事業	南信州広域連合	信州DCで当地域の知名度を上げ、観光誘客の増加を図るため、14市町村連携してJR東日本・東海エリアにおいて、コミュニティFM等を活用した情報発信を図る。 ①イベント出演謝金、消耗品費等	1,075	860	860	広域観光
40	特色ある観光地づくり	ソフト	下伊那北部5町村観光資源ブラッシュアップ及び観光関係者意識啓発事業	下伊那北部総合事務組合	リニア開通に向けた広域的な観光振興を推進するため、エクスカーションツアーや講演会等を通じて、観光資源のブラッシュアップと観光関係者の意識啓発を図る。 ①ツアー費用、講演会謝金、広告費	1,585	1,138	1,138	広域観光
41	農業の振興と農山村づくり	ソフト	天竜川シードル・ブランディング事業	NPO法人国際りんご・シードル振興会(飯田市)	地域の主要特産品のシードルを新たな地域ブランドに育て、地域経済の向上・発展を目指すため、「ナガノシードルコレクションIN飯田」やセミナー等を開催する。 ①会場費、広告費、講師謝金等	3,750	2,879	2,879	産業
42	農業の振興と農山村づくり	ソフト	地域ブランド「南信州果実酒バレー」の発信	松川町	首都圏でのシードルの普及とともに、南信州における知名度向上を図るため、コンペティションや講演会、各種PR活動を実施する。 ①講師謝金、パンフレット、広告費、消耗品等	2,653	2,122	2,122	産業
○ 当地域の要望	農業の振興と農山村づくり	ソフト	市田柿の魅力を高森から全国へつなぎ・つなげる発信プロジェクト	高森町	市田柿のブランド価値や知名度をより一層高めるとともに、小中学生により深く知ってもらうため、市田柿の成長・生産過程を映像化し、各種イベントや小中学校の地元学習で活用する。 ①映像制作、料理教室材料費	3,860	3,088	2,895	
44	農業の振興と農山村づくり	ハード	水田を守ろう！農業用薬剤散布事業	農事組合法人フクロウ(高森町)	高齢化や兼業農家の増加により農業離れが進んでいるが、マルチローターによる薬剤散布を導入し、農地の集約化を図るとともに、農作業の省力化の取組を他団体のモデルとして広める。 ②マルチローター	2,149	1,611	1,432	
45	農業の振興と農山村づくり	ソフト	ジビエ商品販路拡大事業	根羽村猟友会(根羽村)	根羽村のジビエを一般消費者に向けて発信、展開していくため、オリジナルマークを作成し、商品の宣伝効果を高めるとともに根羽村ジビエのブランド化を図る。 ①ジビエシール	540	432	432	産業
46	森林づくりと林業の振興	ソフト・ハード	木の駅プロジェクトによる間伐材多角的活用推進事業	特定非営利活動法人 いいだ自然エネルギーネット山法師(飯田市)	間伐材搬出活動を支援する木の駅プロジェクトを立ち上げ、拠点となる施設整備を進めてきたが、今後の受入拡大を図るため、集積場所の拡充や作業環境の整備を行う。 ①研修講師謝礼、生コン、水分計等 ②木材集積場所整備	1,036	793	681	地消地産
47	商業の振興	ソフト	飯田水引リブランディング	飯田商工会議所(飯田市)	伝統の技を守りつつ様々な分野とのコラボレーションを図りながら新たな飯田水引を展開し、国内外における知名度向上を図るため、フランスの展示会参加や大学と連携したワークショップを開催する。 ①出展料、ポスター、通訳謝礼等	2,996	1,957	1,229	産業
48	商業の振興	ソフト	飯田焼肉を活用したブランド醸成、地域産業・観光の振興プロジェクト	IIDA WAVE(飯田市)	平成27・28年度実施した焼肉ロックフェスで「焼肉の街飯田」を地域内外へ発信できた。平成29年度は自立収支の基盤を構築するため、多くの来場者が確保できる会場で開催し、今後の事業継続を図る。 ①アーティスト出演料、会場設営費、広告費等	24,086	4,886	4,886	産業
49	その他産業振興	ソフト	NESUC-IIDA(ネスクーイイダ)ブランディング戦略事業	公益財団法人南信州・飯田産業センター(飯田市)	地域の将来を担う若者や高度な技術者に当地域の技術を紹介し、当地域を訪れる人材を増やすため、ホームページを制作するとともに、会員や支援機関、高校生等を対象とした新製品等報告会を開催する。 ①ホームページ制作、ポスター、チラシ	4,716	3,773	3,716	産業
50	その他産業振興	ソフト・ハード	ぶなの嶺牧場活性化事業	売木村	牧場に倉庫やヤギ小屋を建築することで、夏山冬里方式による放牧の規模拡大や新規参入を図る。 ①小屋用材料費 ②小屋建築	6,212	4,150	1,414	
51	その他地域の元気	ソフト	イベント列車『三遠南信の歴史と美食、安らぎ、パワースポット体験列車』	JR飯田線活性化期成同盟会(飯田市)	利用者の減少が続く飯田線において、新たな利用者層を獲得するため、地元の方に『列車の旅の楽しみ』を発信し、飯田線の観光利用を推進する。 ①イベント列車運行経費、広告宣伝費	1,301	749	702	

No.	事業区分	ソフト・ハード	事業名	申請者	事業内容 (主な用途 ①：ソフト事業 ②：ハード事業)	総事業費(千円)		支援金 内定額 (千円)	重点 テーマ 区分	
							うち 支援金 要望額			
52	その他地域の元気	ソフト	U・Iターン者移住促進事業	阿南町	町内の若者の流出が進む中、町が主体となってU・Iターン者を呼び込むため、移住セミナー等を開催する。 ①広告費、発表者謝礼、PR映像制作	1,167	933	933	移住定住	
53	その他地域の元気	ソフト	移住・定住促進プロモーション動画制作	阿智村	地域住民が村の暮らしや思いを語る動画チャンネルを立ち上げるとともに、プロモーション動画を制作することで、阿智村への移住・定住を促進する。 ①動画制作	5,000	960	960	移住定住	
54	その他地域の元気	ソフト・ハード	「峰崎部屋夏合宿」で、国技の伝承と地域の元気を生み出す	平谷村観光協会(平谷村)	平谷村の気候を活かし、相撲部屋の夏合宿を誘致するとともに、子ども相撲等の力士との交流事業を実施することで、村の滞在型観光を推進する。 ①講師謝金、防虫ネット、消耗品 ②横断幕、のぼり旗	1,938	1,523	1,408		
55	その他地域の元気	ソフト	うるぎ移住定住ホップ・ステップ・ジャンプ	売木村	高齢化率45%を超える売木村で、移住者や村外協力者を増加させるため、村内体験イベントの開催(ホップ)、ボランティアによる岩倉キャンプ場整備(ステップ)、移住定住相談窓口ブースの設置(ジャンプ)に取り組む。 ①体験イベント開催経費、移住相談用消耗品等	6,273	3,995	610	移住定住	
56	その他地域の元気	ソフト	成婚リンクやすおか事業 拡充・拡大事業	泰阜村社会福祉協議会(泰阜村)	平成27年度から取組を開始した成婚リンクやすおか事業において、結婚相談活動を拡充・拡大させるため、他市町村と連携した移住結婚イベントやフォローアップセミナー等を開催する。 ①講師謝金、会場費、広告費等	2,980	2,113	1,986		
57	その他地域の元気	ソフト	「移住定住・就農」推進！ワクワク『豊丘村ワーキングホリデー』実施事業	豊丘村	「移住定住・就農」を希望する者に対して、豊丘村が「移住定住・就農」に適した村という事を発信するため、各種イベントへの参加やワーキングホリデーを実施する。 ①イベント参加費、イベント用消耗品、広告宣伝費等	4,665	2,292	1,664	移住定住	
58	その他地域の元気	ソフト	南信州移住促進事業	南信州広域連合	広域的な連携のもと「南信州移住セミナー」等を開催し、UIターン希望者への多様な選択肢を提供する機会を創出し、移住定住の促進を図る。 ①体験者謝金、広告費、DVD制作、会場使用料等	4,984	3,747	3,747	移住定住	
南信州地域振興局 計						58 事業	161,479	97,613	84,736	